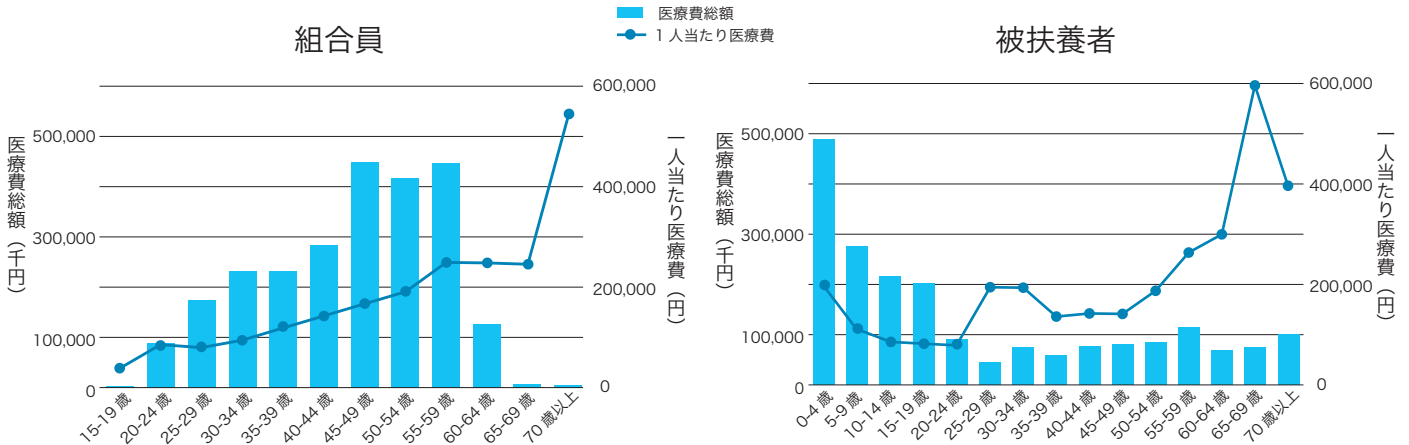


# 令和2年度 医療統計

## 年齢別医療費総額と一人当たり医療費

組合員の医療費は45～59歳が全体の約53%を占めており、一人当たり医療費は年齢とともに徐々に増加しています。

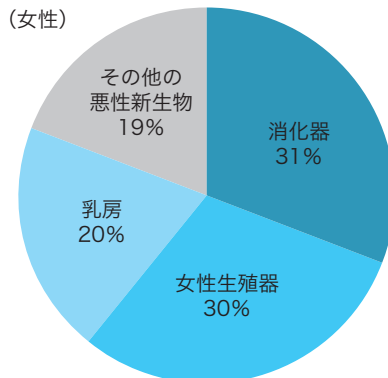
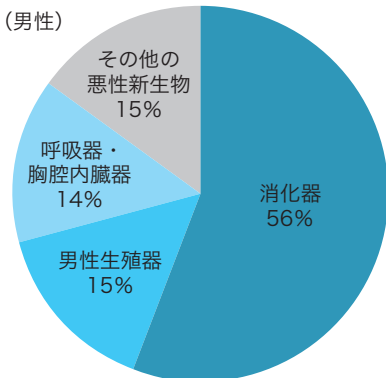
被扶養者の医療費は0～14歳が全体の約48%を占めており、一人当たり医療費は25～34歳で増加し一旦減少するものの、40歳から再び増加しています。



## 疾病大分類別医療費

区分	組合員			被扶養者		
	疾病分類	医療費総額(円)	受診者数(人)	疾病分類	医療費総額(円)	受診者数(人)
1	新生物	286,502,740	4,361	呼吸器系疾患	219,150,910	22,790
2	循環器系疾患	203,432,400	8,756	新生物	145,643,000	2,229
3	内分泌・栄養・代謝疾患	185,052,980	11,553	皮膚・皮下組織疾患	96,341,960	15,761
4	消化器系疾患	127,811,190	6,245	循環器系疾患	95,834,190	2,933
5	腎尿路生殖器系疾患	124,527,700	4,201	筋骨格系・結合組織疾患	81,165,250	3,376
6	筋骨格系・結合組織疾患	117,337,420	5,954	内分泌・栄養・代謝疾患	75,479,580	3,774
7	呼吸器系疾患	98,394,980	11,723	損傷・中毒・外因性	72,051,740	3,524
8	眼・付属器疾患	83,286,030	9,150	消化器系疾患	71,509,260	3,442
9	神経系疾患	74,078,140	3,640	先天奇形変形・染色体異常	70,274,000	421
10	精神・行動障害	71,990,060	6,155	眼・付属器疾患	68,258,360	9,575

## 悪性新生物有病者数(組合員・被扶養者)



男女ともに消化器系の悪性新生物有病者が多く、特に男性は半数以上となっています。

女性は生殖器系及び乳房が半数を占めています。

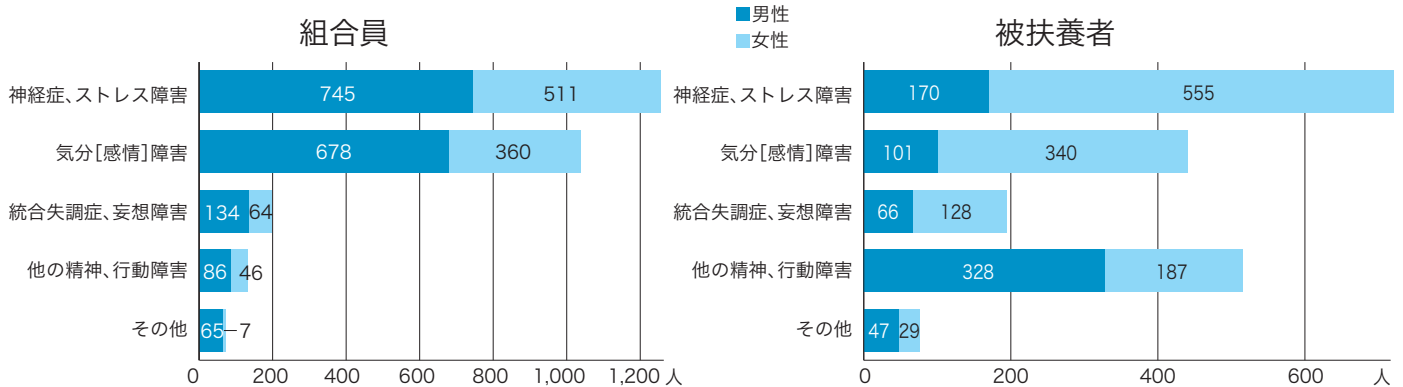
当組合では、人間ドックやがん検診・婦人科検診を助成しています。がんの早期発見のため、毎年人間ドック等を受けましょう。

## メンタル系疾患有病者数

※有病者数は、一人で複数発症している場合もあり、延べ人数です。

組合員は男性の割合が高いものの、被扶養者は女性の割合が高くなっています。

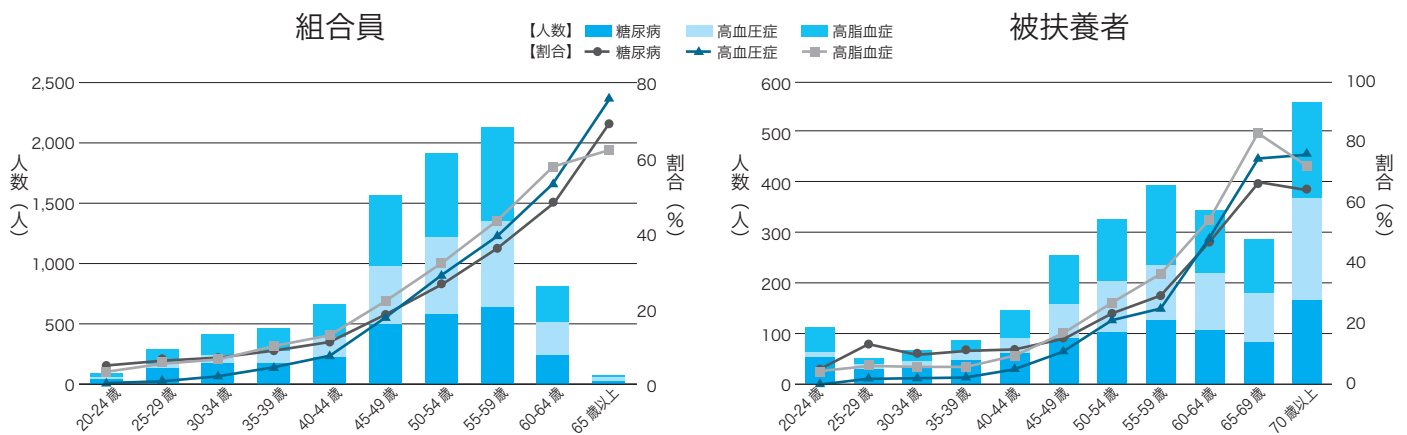
精神疾患の前段として睡眠障害があることから、当組合では睡眠検査助成を行っていますので、ぜひ検査をご活用ください。



## 生活習慣病

生活習慣病は年齢とともに増加し、特に組合員は3疾患とも45～49歳で40～44歳の2倍以上の発症人数となっています。

生活習慣病は自覚症状がないまま悪化する場合がありますので、早期受診や生活習慣の見直しを心掛けてください。



## ジェネリック医薬品

平成31年4月から令和2年3月診療において、1か月に自己負担額が300円以上軽減する見込みの組合員及び被扶養者を対象に、令和2年10月末にジェネリック差額通知を送付しました。

差額通知送付後、対象者の約30%の組合員及び被扶養者がジェネリック医薬品に切り替え、令和3年7月までに2,923,750円削減されました。

